

編集後記

夏が来る度に思い出す記憶がある、という方は少なくないと思います。私にとって、唯一無二の「The夏の記憶」というものはなく、小学生の頃の永遠に感じられた夏休みや、中高生の頃の部活に捧げた夏から、初の海外生活での夏体験、自分が親となって迎えた初めての夏など、時代も環境も異なる記憶が、「夏」という時期に起きたという共通点でカテゴライズされています。その中から、毎年、夏の到来に喚起されて時々的心境に合ったものが思い出されるところに、自分なりの趣深さを感じます。

今月号の巻頭言で、佐藤卓さんが触れておられる「デザイン」の本質のお話。経済学的な意味での付加価値を追求すること自体は、経済社会の発展にはまだ必要です。他方、新たに価値を付加するのではなく、既に存在する価値を見出し、誰かと、何かと繋ぐことこそがデザインなのだという視点は、人が生きる意味を考える時に極めて重要な示唆を持ちえます。

既に存在する記憶を一つの画角で切り取り、今の心境や環境と結びつけながら、何がしかの物語を紡ぐこともある種のデザインであり、その意味では自分も四季折々のデザインをしながら生きているのかな、とふと思いました。

(財務省広報室長 西畠 万季人)

ファイナンス

9月号(通巻第730号) 令和8年9月18日発行

編集・発行 財務省
編集補助・印刷・販売 日経印刷株式会社
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋2-15-5
03-6758-1011

ISBN978-4-86579-540-0

定価509円(本体463円+税10%)

●ご購入は政府刊行物センター、大手書店等でお求めください。

●記事はホームページでもご覧いただけます。(一部ご覧いただけない内容があります)

財務省広報誌「ファイナンス」トップページ

https://www.mof.go.jp/public_relations/finance/ ⇨



●本誌へのご意見・ご要望は

〒100-8940 東京都千代田区霞が関3-1-1 「財務省広報室内ファイナンス編集部」あてにお送りください。

e-mail: finance@mof.go.jp

財務省ホームページ

<https://www.mof.go.jp> ⇨



財務省X公式アカウント

@MOF_Japan ⇨



アンケートに

ご協力ください。⇨

